

特定非営利活動法人トムトム

令和6年度

事業報告(案)

社外秘

※関係者以外閲覧禁止

法人全体

1、 基本理念

ハンディのある方とそのご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、 運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実。
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携、地域福祉のネットワークづくり。
- (4) 職員の資質向上を目的とした研修や人事評価制度の見直し。
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備。
- (6) 適切な財務管理と会計処理に努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

3、 重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ①本人を尊重した個別支援計画の作成
 - ②本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 新型コロナウイルス等感染症発生時・自然災害発生時の業務継続計画の見直し
本年4月より制度として義務づけられた新型コロナウイルス等感染症発生時及び自然災害発生時の2つの業務継続計画(BCP)の策定について、令和5年度中に事業所毎に計画書の作成を行ってきた。本年は更に計画書の内容の見直しを図り、足りない備蓄品や環境を予算立てしながら整備を行う。
- (3) 安定した運営の実現
 - ①法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ②人事制度に伴うキャリアアップ制度の運用と見直し
 - ③人材育成のための職員研修の実施
- (4) 事業展開と今後の見通し
 - ①就労支援事業の作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
 - ②就労支援事業の見直し

4、会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	令和6年5月21日	令和5年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	令和6年5月28日	①令和5年度事業報告(案) ②令和5年度決算報告(案)及び監事監査報告
総会	定時	令和6年5月28日	①令和5年度事業報告(案) ②令和5年度決算報告(案)及び監事監査報告 ③令和6年度事業計画(案) ④令和6年度予算(案)
理事会	第2回	令和6年11月27日	①令和6年度補正予算(案) ②令和6年度上半期事業報告(案) ③令和6年度上半期決算(案) ④規程改定(案)
理事会	第3回	令和7年3月27日	①令和7年度事業計画(案) ②令和7年度予算(案) ③規程改定(案)

5、会員

正会員34名、賛助会員23件

6、事業運営

事業所名		所在地	事業種別	事業(サービス)名	サービス提供地域
本部		西真土	障害福祉サービス	法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)	茅ヶ崎市 平塚市
トムトム相談室		南原		計画相談支援,障害児相談支援	
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	萩園		放課後等デイサービス	
	からんころん	萩園		生活介護	
	とむ郎	香川		共同生活援助	
	モンキーポッド	萩園		茅ヶ崎市日中一時支援	
平塚支部	えぼっくハウス	南原	障害福祉サービス	生活介護	平塚市
	やなぎこんぶ	南原		就労継続支援B型	
	キヤロット工房	西真土		平塚市日中一時支援	
	えぼハウ	御殿		放課後等デイサービス	
	ゆうゆうクラブ	御殿		移動支援	
	ぶんぶん	南原		自由契約	
				個別支援(パーソナル)	

7、施設管理業務

(1) 建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2-4-5 マインズビル1階	206.25 m ²	
2	平塚市南原2-4-5 マインズビル403号室	41.25 m ²	ぶんぶん,えぼっくハウス,トムトム相談室
3	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.65 m ²	とむ郎
4	平塚市南原1-13-18	165.57 m ²	えぼっくハウス分室
5	平塚市南原1-13-18	120.00 m ²	やなぎこんぶ
6	平塚市西真土1-7-62	126.37 m ²	キャロット工房
7	平塚市西真土1-7-56	130.00 m ²	グリーン工房,本部
8	平塚市城所1382	162.47 m ²	アンヌ
9	平塚市御殿1-7-6	118.38 m ²	ゆうゆうクラブ
10	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.74 m ²	からんころん
11	平塚市御殿1-33-21	59.52 m ²	えぼハウス
12	茅ヶ崎市萩園1602	198.74 m ²	あいあいクラブ,モンキーポッド

(2) 駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園1624	10 台	10	平塚市南原2-2-13	3 台
2	茅ヶ崎市萩園2336-1	14 台	11	平塚市南原2-4-7	5 台
3	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	12	平塚市南原2-4-9	5 台
4	平塚市御殿1-7-17	4 台	13	平塚市南原2-192-2	1 台
5	平塚市御殿1-23-3	2 台	14	平塚市西真土1-1512-1	5 台
6	平塚市御殿1-1111-4	2 台	15	平塚市西真土1-1521-1	4 台
7	平塚市御殿1-112-3	8 台	16	平塚市西真土1-1512-3	1 台
8	平塚市南原2-3-11	1 台	17	平塚市西真土1-1421-1	1 台
9	平塚市南原2-8-14	4 台	18	平塚市西真土1-10-1421-1	2 台
合 計					75 台

(3) 車両の状況

事業所	車両	事業所	車両
本部	1 台	キャロット工房	6 台
あいあいクラブ	3 台	ゆうゆうクラブ	3 台
モンキーポッド	3 台	からんころん	4 台
とむ郎	1 台	やなぎこんぶ	1 台
えぼっくハウス	9 台	トムトム相談室	1 台
合計		32 台	

(4) 什器備品・リース

No	主な備品資産	台数
1	SAORI織機	3
2	リヤカー	1
3	パソコン・モニター	24

No	リース契約	台数
1	はちろう君(成型機)	1
2	まぜろう君(攪拌機)	1
3	オフィス電話	23
4	複合機	7
5	プリンター	1
6	サーバー	2
7	パソコン・モニター	38
8	就業・人事奉行(ソフトウェア)	1
9	おりこうブログ(ソフトウェア)	1
10	MIRAIZ(ソフトウェア)	2
11	ヴォクシー(車両)	1

(5) 主なITソフト

No	種類	ソフト名
1	給与	OB C 給与奉行 給与計算システム
2	会計	TKC 会計ソフト
3	介護請求	真 障害者総合支援法対応 介護派遣コーディネイトシステム
4	介護請求	ミスヘルパー請求システム
5	管理	ミスヘルパー預り金管理システム
6	グループウェア(*)	サイボウズ
7	人事	OB C 人事奉行 人事管理システム
8	労務	OB C 就業奉行 勤怠管理システム
9	労務	OB C 法定調書奉行 年末調整・法定調書作成システム

*組織内の情報共有のためのシステムソフト

8、職員体制

令和7年3月末時点

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	4	3	4	17		30
嘱託					2		2
非常勤					64	3	67
派遣					5		5
合計	2	4	3	4	88	3	104

※組織図別紙1参照

9、職員研修

研修名	開催日	内容
法人全体研修	6月15日	虐待と不適切な支援を行わないために～本人を中心としたよりよい支援をめざして～ 講師：トムトム理事 松永 徹氏
常勤職員研修	9月18日 10月16日	食中毒予防に関する動画視聴（衛生委員会） 感染症予防に関する動画視聴（衛生委員会）
公開研修 (法人企画)	11月20日	「意思決定支援」について理解を深める 講師：又村 あおい氏
常勤職員研修	11月20日 12月18日 1月15日 2月19日	個人情報保護と秘密保持に関する動画視聴（研修委員会） BCPに関する動画視聴と説明（安全委員会） 職員のマイブーム、推しについて発表（研修委員会） 肩こり腰痛解消ストレッチ動画を視聴しながら実践（衛生委員会）

研修名	開催日	内容
法人全体研修	3月8日	本人を知る(理解すること)～本人の意思決定、権利擁護の背景からも考える～ 講師:トムトム理事 松永 徹氏

10、内部会議の開催

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹部会議	0	2	1	0	1	0	0	1	1	0	1	2
課長・主任会議	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
常勤全体会議	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
会計会議	1	0	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1
労務会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と社会保険加入の非常勤職員が対象)
→11月～3月にかけて実施済
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成→10月に実施済
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→6月実施済

12、役員数

理事6名、監事1名

13、苦情処理

なし

14、総括

(1) 安心できるより良いサービス提供の実現

本年も各事業所において、個別支援計画に則り、ご本人とそのご家族等と面談を行い、実践の振り返りと個人の生活面や日中活動の支援について取り組みを行った。

(2) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)予防と対策

新型コロナウイルス感染症が国内で急速に流行りだしてから丸5年になろうとしているが、法人内ではいまだ完全に収束することはなく、主に夏と冬の時期に流行のピークがきていく。人の出入りの多い事業所で感染が広がりやすい傾向で、今年も8月に感染者が増えた。ただし今回は、ちょうど事業所の夏期休業期間と重なったため事業所を閉所することなく、休業明け以降は収束した。

例年、冬の1月頃も感染が拡大する傾向のため、各事業所への感染予防対策徹底の呼びかけを衛生委員会を通じて行った。

(3) 安定した運営の実現

年々、夏の猛暑が過酷を極め、日中は外出を控えるよう熱中症警戒アラートが日々発令されるため、事業所の活動に支障が出ている。それに輪を掛け、今年も水光熱費、ガソリン代、食材、備品費等、あらゆるもののが値上がりしており、物価高騰の影響がますます大きくなっている。

一方で、県や市町村から物価高騰対応支援金が給付されているが、市町村によって給付されるところと、そうでないところがあり、我々がサービスを提供する上で、活動地域が違うというだけで同じ内容が提供されないという不公平を感じている。

こうした中で、今年度も法人努力として賃金のベースアップを行っているが、最低賃金と物価の急激な上昇によって、法人が目指している職員達の生活水準を上げていくという努力は二の足を踏んでいる状態。このことは、我々の法人だけではなく、日本中の障がい福祉事業を行う法人が抱えている問題となっており、国の動きとして最低賃金の上昇が急務と報道されている中で、障がい者団体が待遇改善の単価を更に高くするよう訴えかけている。

(4) 事業展開と今後の見通し

依然として今年度も就労支援事業の赤字が続いている、かねてからの課題である事業体の見直しについて、段階を踏みながら計画をたてる。

IT委員会

1、目的

IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。

ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、重点課題

- ① リモート操作により、法人内のパソコンのWindowsUpdateの状況、メディア機器などの接続状態を個別に管理し適正な運用を図る。
- ② パソコン、サーバー、クラウド、DocuWorksのトレイ等のパソコン関連全般のスキルアップや情報管理に関する知識習得のための講習会を企画、実施する。
- ③ パソコンの操作方法が分からぬ場合やネットワーク環境等でトラブルがあった場合に職員のサポートを行う。

3、総括

ITを上手に活用することで、職員が支援に集中できるようにすることを目的として文書様式の電子化やコミュニケーションツールの調査などを実施した。

文書様式は、電子化によって職員が混乱しないように、視覚的にこれまでの紙様式と同様にすることを意識して完成させた。また、各車両の情報を紙面管理から電子データにしたことで、車検時期が検索で一目で分かるなどの効果が表れている。

今後は月報の電子化を進めていく。

コミュニケーションツールは、職員個人の端末を使ってLineやショートメールをしているところを、法人用のLine等のアプリ・ツールの使用を検討調査し、使いやすいツールの使用が可能であれば、法人内ルールを決めて提案する方向。

安全委員会(安全)

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① BCPの作成が義務化され、自然災害時や感染症発生時の事業の継続や早期の復旧が求められる。計画に沿った対応ができるよう備蓄品の管理を徹底し、保管場所を全職員に周知する。また避難訓練については、実施後に問題点を確認して改善を行う。
- ② 前年度のAEDの講習は動画を観るものだった。今年度は対面での講習を行い、実際にAEDに触れながら操作方法を身に着けていく。
- ③ さくら連絡網について、複数の事業所に勤務している職員を考慮し、茅ヶ崎と平塚の全事業所に連絡が取れる体制を作りたい。また未開封の人に対しての開封のお願いを徹底する。

3、総括

- ① BCPに関して、常勤全体向けの動画視聴研修を行ったが、計画の見直し方法の検討や、現場職員に対して計画の詳細の共有までには至っておらず、今後の課題としたい。
- ② AEDに関しては、委員会メンバーが救命救急講習を受講し、常勤全体会議で資料共有を行った。今後は各事業所で必要に応じて研修や訓練を実施していく。
- ③ さくら連絡網の使い方として、複数の事業所を兼務する職員に関しては、当該職員とその所属長がそれぞれ登録を行うことで連絡のとれる体制を構築した。また、さくら連絡網の利用者登録率の改善がみられ、今後も新規利用者受け入れ時に登録案内を継続していきたい。

安全委員会(車両)

1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

2、重点課題

- ① 運転モラルの向上及び事故・違反防止に向けた運転技術の向上が必須。そのための実地研修や講習・ポスターなどの啓発活動を充実させる。
- ② 各事業所から上がってきた車両に関する事故・違反・苦情等 及び ひやりはっとを洗い出し、常勤会議内で報告するとともに、原因及び防止策の周知徹底に務める。
- ③ 各事業所の車両管理者と連携し、車両点検簿等を活用して整備状況の確認・把握に努める。
- ④ ドライバーの運転前(業務の開始時)に、計器・目視など適切な方法でドライバーが酒気を帯びていないか(アルコールの影響を受けている状態にない)を確認継続する。

3、総括

- ① 安全運転啓発のためのポスター配布や講習等は、年間予定どおり実施することができた。
- ② 毎月の常勤会議で車両に関する事故・違反・苦情の内容・原因を報告することで再発防止を目指しているが、軽微な事故や走行に関する苦情は続いているが、どのような取り組みなら効果を上げられるか考えていく必要がある。
- ③ 各車両の管理状況については、事業所ごとに管理方法が違い、連携や管理の確認が難しい状況だった。運行前後のアルコールチェック点検についても同様で、事業所毎に点検は行っているが、委員会として最終的な管理状況の実態把握が出来なかつたために、根本的な仕組みの見直しを検討する必要がある。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 感染症予防対策に関する啓発活動の実施。
- ② 安全かつ衛生的に活動するために各事業所の建物及び設備・備品等の確認をする安全衛生パトロールの実施。
- ③ 職員の生活習慣病予防・ストレス予防の対策の検討・実施。

3、総括

- ① 食中毒予防、感染症予防の研修において、動画を皆で視聴し啓発に務めることができた。来年度も引き続き適切な時期に研修を実施したい。
- ② 安全衛生パトロールは今年度もセルフパトロールにて実施したが、改善されない点も見られる。改善点は何か、なぜ改善できないか等、法人、事業所内で情報共有する必要があると考える。
- ③ 職員の腰痛対策として、会議内で皆で腰痛予防体操を実施。また機会があれば実施したいと考える。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、重点課題

- ① 法人の理念や活動内容が外部に伝わるよう、内容の充実を図る。
- ② 定期的なホームページの更新を行い、新規利用者や新規職員の確保に繋げていく。

3、総括

- ① 広報紙発行に関しては、各事業所に活動写真を習慣的に撮るよう周知していたこともあり、写真の収集に困らなかった。また、掲載する写真や文章を、編集前に所属長に確認してもらうことで掲載イメージのずれが無く、発行までの流れがスムーズになり、概ね予定通りのスケジュールで進めることが出来た。写真の配置の仕方や文章の書き方について、第三者目線でどう伝わるかイメージしながら見やすさを考慮して進めた。
- ② ホームページの更新に関しては、広報紙の掲載のみとなってしまった。新年度は、写真の差し替え等をしていく。

研修・権利擁護委員会

1、目的

- | | |
|--------|--|
| ① 研修 | 法人内外の研修を通じて職員を育成して仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。 |
| ② 権利擁護 | 障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るために何が必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。 |

2、重点課題

- ① 不適切な支援を行わないよう定期的に虐待防止に関する研修会を行う。また支援のあり方を日常的に職員同士で確認し合い、法人全体で虐待防止に取り組む。
- ② リスクマネジメントの観点からも、国が求めるBCP計画を遂行する実態に合わせた研修内容を計画し、実行する。
- ③ 職員のメンタルヘルスや、職場内のハラスマントが発生しないよう繰り返し研修を行う等、風通しの良い職場環境づくりのための研修を実行する。

3、総括

今年度から義務化された研修のうち、虐待防止や身体拘束適正化については2回の職員全体研修の講義で学び、グループワークで意見を交換することができた。その他については常勤会議内で動画の視聴を中心とした研修を行った。

課題としては、準備が遅れて研修が年度の後半に偏ってしまったこと、動画の視聴が多く実際に体験をする研修が少なかつたこと、常勤会議内でのものが多く他の職員の受講機会が少なかつたことがあげられる。また義務化されたもの以外の研修(スキルアップ研修、リクエーション的な研修など)も定期的に行いたい。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運営業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

- 労務業務 人事、給与他
- 管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他
- 庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他
- 経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他
- 管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他
- 請求業務 未収金請求、障がい福祉関係の請求他
- 本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)

非常勤職員3名

4、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	4月2日	情報共有、検討事項の審議
	5月7日	
	6月4日	
	7月2日	
	8月9日	
	9月6日	
	10月7日	
	11月5日	
	12月3日	
	1月10日	
	2月4日	
	3月3日	

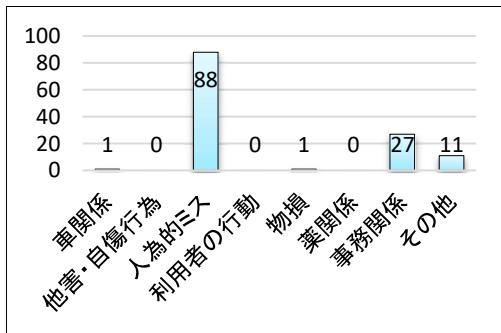
(2) 外部研修

研修名	開催日	内容
OBＣ説明会	4月26日	定額減税について
セミナー	1月21日	企業が知っておくべき給与デジタル払いの実務 ポイント
	3月18日	忙しい人必見！60分でkintoneアプリ作成のコツ を掴むセミナー

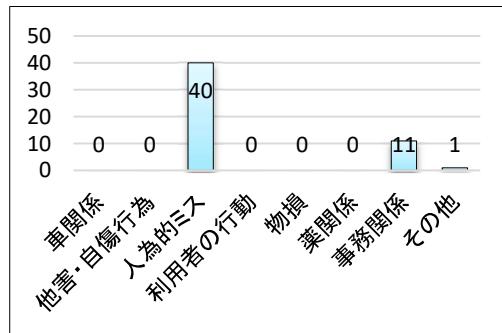
5、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 128 件



(3) 事故 52 件



8、重点課題と目標

(1) 事故報告とひやりはっと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはっと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトを有効活用し、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

(3) 安定した運営の実現

①顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るために、雇用関係助成金を積極的に活用していく。

②専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、改定後の賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。

③顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。

④事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。

⑤労務関連の諸手続き、申請等のさまざまな事務処理の電子化を進め、事務の省力化と経費節減に努める。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7) その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

9、 総括

ひやりはっと報告の提出が定着してきた。風通しの良い、安全な職場環境づくりに職員全員で取り組んでいると感じる。

年末調整の申告手続きを電子化にすることで、労務担当者の煩雑な事務量が大幅に軽減された。電子システムを介することによって、職員側の記入漏れや計算間違い等が減り、確認作業時間が短縮されたことは大きな成果である。

茅ヶ崎支部

1、 内部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	5月16日 7月11日 9月12日 11月14日 1月16日 3月13日	情報共有、課題検討

2、 外部会議・研修

なし

平塚支部

1、 内部会議・研修

なし

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
湘南西地区施設長会	7月30日	神奈川県からの話、情報交換等
湘南西地区施設長会	11月5日	研修、意見交換等
全国放課後連絡会	2月20日	研修、意見交換等

あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園1602 2階)

1、 実施事業

放課後等デイサービス

2、 目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目標に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…小・中・高等学校へ在籍し、市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～金

(4)定休日…(土曜日・日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～17:30 長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

4、 事業収入

		年間
開所日数		240
件数		2,151
障害福祉サービス収入(単位:千円)		25,115

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者23名(男性19名、女性4名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	計
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	
男性	1	3	2	2	2	0	10
女性	0	0	0	0	1	1	2
計	1	3	2	2	3	1	12

年齢 学年	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
男性	0	2	2	3	2	0	9
女性	0	0	0	1	0	1	2
計	0	2	2	4	2	1	11

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計
療育手帳(神奈川県)	12	9	2	0	23
等級	1級	2級	3級	計	
精神障害者保健福祉手帳	1	0	0	1	
等級	1級	2級	3級	4級	5級
身体障害者手帳	0	1	0	0	1
等級	5級	6級	計		
	0	0	2		

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員1名(他兼務))

嘱託職員1名

(児童指導員1名)

非常勤職員7名

(児童指導員3名(他兼務含)、指導員3名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務含))

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月12日 5月10日 6月14日 7月12日 9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 1月10日 2月14日 3月7日	日々の業務、利用者対応、支援の情報共有、検討など

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市自立支援協議会全体会議	4月25日	令和6、7年度の取り組み発表、委員の顔合わせ、部会の日程調整
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	5月23日	令和6年度の役員選出、年間予定の確認、情報共有のグループワーク
ケース会議	6月13日	入所利用者について情報共有
ユースボランティア茅ヶ崎打ち合わせ	6月26日	夏季ボランティア受け入れの打ち合わせ
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	9月18日	研修・説明会の準備・茅ヶ崎市からの連絡・グループワークなど情報共有
	11月7日	茅ヶ崎市寒川町からの連絡、制度説明会について、情報共有など
弘済学園ケースカンファレンス	12月16日	入所利用者の様子について情報共有を行う
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	1月21日	市町村からの連絡、研修会のお知らせ、情報共有など
	2月10日	市町村からの連絡、令和8年度に向けた意見交換、情報共有など
茅ヶ崎支援学校・支援事業等連絡会	3月3日	学校からのお知らせ、情報共有
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	3月10日	新年度の役員について、ワークグループ分け、茅ヶ崎市からのお知らせ

(3) 面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
利用者面談	4月 11,15,16,27 日	ご家庭、学校、事業所での利用者の様子について、個別支援計画の修正
	5月13,20日	

面談・モニタリング名	開催日	内容
モニタリング	5月27日	ご本人の放課後の過ごし方や様子について
	6月12,19日	
利用者面談	6月 5,8,13,17, 7日	ご家庭、学校、事業所での利用者の様子について、個別支援計画の修正
	7月 2,4,8,10,11, 16日	
事業所見学	8月15,21日	令和7年度小学新1年生の来訪
利用者面談	9月 19,24,25,26 ,30日	ご家庭、学校、事業所での利用者の様子について、個別支援計画の修正
	10月 3,4,5,21,22 日	
モニタリング	11月21日	ご家庭、学校、事業所での利用者の様子について、個別支援計画の修正
	12月 3,12,17,19, 20日	
利用者面談	1月 20,24,29日	家庭・学校・放課後の様子確認、個別支援計画の修正
	1月14日	放課後の様子確認
新規利用契約	2月7,17日	令和7年度に小学校へ進学予定の保護者と利用契約を交わす
利用者面談	2月 13,18,21,28 日	家庭・学校・放課後の様子確認、個別支援計画の修正
モニタリング	2月14日	放課後の様子確認
新規利用契約	3月7日	令和7年度に小学校へ進学予定の保護者と利用契約を交わす
利用者面談	3月 4,5,10,13,1 7,19日	家庭・学校・放課後の様子確認、個別支援計画の修正

(4) 研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
寒川町手をつなぐ育成会研修	5月9日	意思決定支援について
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	6月6日	利用者ご家族との懇談会
火災避難訓練	6月25日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
事例検討の会	6月26日	PCAGIP法の紹介及び模擬事例によるPCAGIP体験
乙種防火管理者講習	7月5日	防火管理者について学ぶ/取得研修
ユースボランティア茅ヶ崎受け入れオリエンテーション	7月6日	ユースボランティア受け入れの受付
ユースボランティア茅ヶ崎受け入れ	8月5,6,9,27 日	ユースボランティアの受け入れ
ユースボランティア茅ヶ崎活動見学	8月8日	ユースボランティア受け入れ現場の様子を見学
サービス管理責任者実践研修	9月2,3日	サービス管理責任者実践研修
地震避難訓練	10月17日	地震を想定した避難訓練(モンキー・ポッドと合同)
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
安全運転講習	11月7日	運転に関する知識や技能を学ぶ

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
制度説明会	11月19日	茅ヶ崎市寒川町における「放課後等デイサービス・日中一時支援」事業利用についての説明など
交通安全講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ
現場での実践事例から学ぶ！本人の意思を引き出す 意思決定支援とは？	1月15日	①津久井やまゆり園での意思決定支援の取組み ②利用者の意思決定支援実践事例 ③利用者の地域移行に関する事例
支援者のためのペアレント・トレーニング入門講座	1月18日 2月1,15日	障がい児・者支援に活用できるペアレント・トレーニングの方法を学ぶ
発達強調運動障がい	2月26日	茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会による内部研修
強度行動障害支援者養成研修における自閉傾向にある児童への適切な支援に係る研修	3月6日	自閉傾向にある児童への適切な支援について

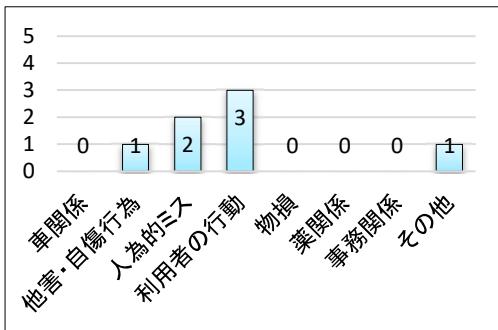
8. 行事

なし

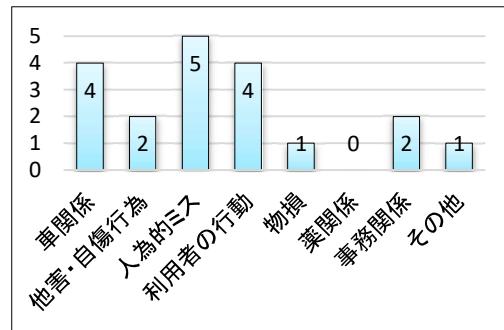
9. 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 7 件



(3) 事故 19 件



10. 重点課題

- ① 職員と関りながら楽しい経験を積み重ねることで、利用者の心身の成長発達を促す支援を継続すること。
- ② ご家族との面談やヒアリングを通した情報共有を図ることで、課題の共有と適宜必要な情報の提供を行い、「つながる支援」を継続すること。
- ③ 報酬改定にともなう書類整備や活動の調整を滞りなく行うこと。

11. 目標

- ① 新しい活動を取り入れ、本人の様子に合わせた柔軟な支援が継続できるよう努めていきたい。
- ② 利用者は楽しく通い、保護者は安心・安全に通わせることが出来る事業所として、支援を通して信頼関係や繋がりを深めていきたい。
- ③ 事業所間での情報共有を通じて、地域での連携支援を図っていきたい。

12、総括

- ① 「つながる」を大切に、本人・ご家族・職員・地域のサービスと将来を見据えた情報共有を行ってきた。ご家族と社会の結びつきは重要と考えているため継続していきたい。
- ② 「目標」としていた新しい活動として毎月、個別創作活動の時間を設けた。利用者個々の特徴理解や成長発達に繋がると期待している。
- ③ 本人および保護者と、将来を見据えた取り組みに繋がるよう引き続き関係性の構築を意識していく。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、 実施事業

生活介護

2、 目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、 事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～15:30
- (6)定員…10名

4、 事業収入

	年間
開所日数	252
件数	3,063
障害福祉サービス収入(単位:千円)	60,519
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	2,650
就労支援事業収入(単位:千円)	40

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者15名(男性9名、女性6名)

(2)年齢構成

20～50歳、平均年齢27.2歳(男性28.9歳、女性24.3歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計
療育手帳(神奈川県)	15	0	0	0	15
等級	1級	2級	3級	計	
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0	
等級	1級	2級	3級	4級	5級
身体障害者手帳	0	4	0	0	1
					計
					6

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	4	4	9
女性	0	0	0	2	1	3	6
計	0	0	0	3	5	7	15

6、職員体制

常勤職員6名
 (管理者1名(他兼務)、生活支援員5名(他兼務含))
 嘱託職員1名
 (サービス管理責任者)
 非常勤職員15名
 (看護師1名、生活支援員10名(他兼務含)、ドライバー4名(他兼務含))

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月15日	
	5月20日	
	6月17日	
	7月22日	
	8月19日	
	9月30日	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	10月21日	
	11月18日	
	12月16日	
	1月20日	
	2月17日	
	3月17日	

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
利用者ケア会議	5月22日	利用者のサービスの進捗状況把握、ご家族の様子の情報共有
	6月20,27日	関係機関との情報共有
	7月29日	
	12月19日	ご本人支援内容の検討・情報共有
	3月18日	利用者の情報共有

(3) 面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
利用者ケア会議・面談	4月 9,12,16,26 日	情報共有、各関係機関連携
実習生アセスメント	5月29日	実習に向けての情報共有
実習振り返り	6月12日	実習の振り返り
モニタリング	7月29日	利用者のモニタリング
生活介護(通所支援)計画 作成面談	9月4~13 日	通所支援計画の見直し・振り返り
ケア会議	10月17日	利用者の情報共有
後見人面談	10月21日	利用者のご様子の共有、工賃受け渡し等
障がい支援区分認定調査	11月1日	障がい支援区分認定調査
後見人面談	12月20日	後見人・ご家族との面談
生活介護(通所支援)計画 作成面談	3月3日~ 20日	通所支援計画の見直し・振り返り

(4) 研修・講習・説明会・その他

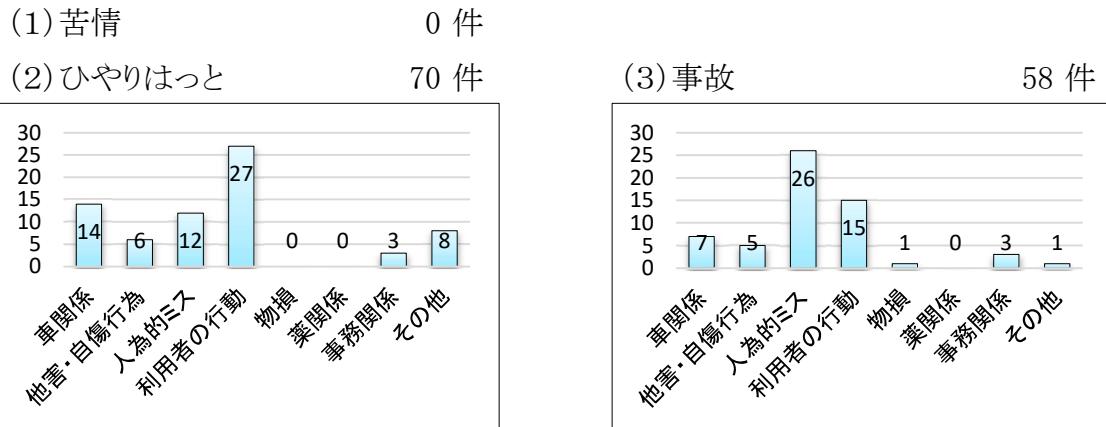
研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
寒川町手をつなぐ育成会主 催研修	5月9日	意思決定支援について (講師:又村あおい氏)

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	6月6日	活動報告
実習生受け入れ	6月 10,11,12日	支援学校在校生実習
火災避難訓練	6月18日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
見学	7月17日	支援学校在校生来訪
茅ヶ崎支援学校事業所説明会	7月22日	ご家族に活動内容の説明
発達障がい児者専門相談員によるステップアップ研修	7月31日	～行動には理由がある～発達障がい研修
せんち共済オンラインセミナー	8月10日	令和6年度法改正、報酬改定から考える選ばれる「放課後等デイサービス」のポイントはここだ！
サービス管理責任者更新研修	8月5日	障がい福祉・児童福祉の動向に関する講義、サービス提供の自己検証に関する演習等、サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習
	8月29日	
見学	10月8日	茅ヶ崎支援学校生徒事業所見学
地域リハビリテーション支援センター研修	10月8日	「知的障害のある方への支援」 知的障がい者に対する支援について講義やグループワークを通して学ぶ
地震避難訓練	10月21日	地震を想定した避難訓練
嘱託医来訪	10月23日	嘱託医による利用者さんの健康管理
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
安全運転講習	11月6日	運転に関しての知識や技能を学ぶ
安全運転講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ
茅ヶ崎市障害者施設連絡会研修会	1月25日	意思決定支援について
施設見学	2月13日	新設グループホーム見学
強度行動障がい基礎研修	2月19,20日	強度行動障がいがある人の日中・生活場面の確保、支援の質の向上をめざすため、知識や技術の基礎を学び、適切な支援計画の作成の方法を学ぶ
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会主催研修	2月26日～3月4日	障がいのある方の目線に立った意思決定支援について～神奈川県版意思決定支援ガイドラインについて学ぶ～
強度行動障がい予防的支援～教育と福祉の連携～	3月17,25日	強度行動障がい予防的支援研修

8. 行事

行事名	開催日	内容
移動美容室	4月10日 6月19日 8月7日	利用者5名散髪
七夕見学	7月5日	七夕祭り見学
誕生日会	7月16日 9月19日	誕生日を祝う、写真撮影
流しそうめん	7月22日	流しそうめんや唐揚げを食べる
夏祭り	8月20日	夏祭りを楽しむ
お楽しみ外出	10月3日	新江ノ島水族館へお楽しみ外出
移動美容室	10月8日	利用者4名散髪
誕生日会	11月18,22日	誕生日を祝う
きらめき祭出店	11月14日	茅ヶ崎支援学校きらめき祭で自主製品販売
クリスマス会	12月24日	クリスマスを楽しむ(ケーキ作り)
成人を祝う会	1月9日	成人を迎えた利用者のお祝い
豆まき	2月3日	節分で豆まきをする(豆は自宅に持ち帰る)

9、苦情・事故・ひやりはっと報告



10、重点課題

- ① 利用者の障がい特性や生活パターンの変化などで体重が増えている人が多いため、ご家族と連携しながら、食事・運動等の内容を共有して体調を整えていくよう支援する。
- ② 職員研修を推奨し、障がい特性の理解や支援力のスキルアップを目指す。
- ③ 個別支援計画検討会議での情報共有を充実し、支援に反映させていく。

11、目標

- ① 感染対策を継続しながら、利用者・職員が健康的に過ごせるような活動内容とする。
- ② 年間を通し、季節ごとの行事を取り入れ、楽しみながら外出の機会を増やしていく。
- ③ 職員同士の連携を深め、支援体制を充実していく。

12、総括

- ① 障がい特性によるこだわり等のため、発達障がい専門相談を利用したり、ご家族や医療機関からも意見を聞きながら、支援内容を検討した。
- ② 研修の機会を積極的に利用し、職員のスキルアップや他法人の職員との交流を実施した。
- ③ 職員同士の情報共有については、個別支援検討会議や書面の回覧などで共有し、必要に応じてその都度職員へ声をかけを行い、意見を取り入れながら行った。
- ④ 利用者の感染対策として、コロナ感染時同様に体温を1日3回測り、体調管理を継続した。
- ⑤ 利用者の体重増加傾向については、外出時に散歩などを実施しているが、なかなか思うような効果は出ていない。ご家庭との連携で健康管理を維持していきたい。
- ⑥ 近隣にグループホームが開所されたので、利用者へ短期入所利用を促し、利用に応じた送迎体制をとつて協力しながら、ご家庭以外の場所で暮らす体験を勧めていく。

とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、 実施事業

共同生活援助

2、 目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)定員…6名

4、 事業収入

	年間
開所日数	362
件数	1,928
障害福祉サービス収入(単位:千円)	23,924

※家賃補助は含まず

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性-名)

(2)年齢構成

29~50歳、平均年齢36.3歳(男性36.3歳、女性-歳)

(3)手帳の内訳

等級 療育手帳(神奈川県)	A1	A2	B1	B2	計
	1級	2級	3級	計	
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0	
	1級	2級	3級	4級	計
身体障害者手帳	0	1	0	0	
	1級	2級	3級	5級	6級
	0	1	0	1	0
					2

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	0	4	2	6
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	4	2	6

6、 職員体制

常勤職員5名

(管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員兼世話人3名(他兼務含))

非常勤職員12名

(生活支援員6名(他兼務含)、世話人6名(他兼務含))

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月26日 5月30日 6月26日 7月29日	
常勤会議	8月27日 9月26日 10月28日 11月28日 12月24日 1月29日 2月27日 3月28日	情報共有、支援内容の検討 日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り
世話人会議	7月17日	利用者の食事について
検討会議	7月23,29日 8月2,19日	利用者の栄養管理について
世話人会議	10月17日 12月19日 3月6日	日々の業務の確認や情報共有

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	9月19日	利用者の様子、支援について

(3) 面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
モニタリング	7月12,25日	
後見人面談	7月22日	利用者の様子について
利用者面談	8月1日	
モニタリング	8月2,22日	利用者の支援について
利用者面談	9月17日	
後見人面談	9月17日	利用者の様子について
打ち合わせ	10月29日 10月31日	利用者のヘルパー利用の確認
後見人面談	11月18日	
面談	11月29日	利用者の支援について
	12月16日	
モニタリング	1月17日 1月28日	
後見人面談	2月4日	利用者の様子について
モニタリング	2月21日	
利用者モニタリング面談	3月15日	
後見人面談	3月24日	

(4) 研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	6月6日	活動報告
火災避難訓練	6月25日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	9月11日 10月2日	サービス管理責任者についての講義、動画視聴 サービス管理責任者についての講義、演習

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
地震避難訓練	10月16日	地震を想定した避難訓練
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
安全運転講習	11月7日	運転に関する知識や技能を学ぶ
障がい者グループホーム職員向け研修	11月20日	自閉症の基礎～障害者の特性と理解～ 講師/神田 宏氏 社会福祉法人横浜やまびこの里横浜市発達障害者支援センター発達障害者地域支援マネジャー

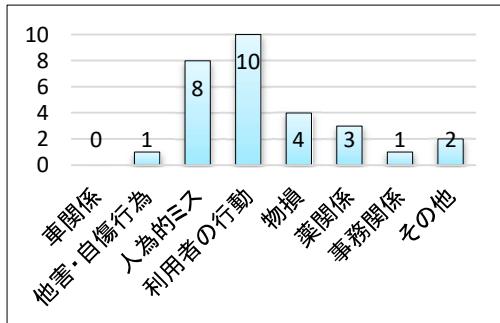
8、行事

行事名	開催日	内容
誕生日会	5月7日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
	7月9日	
	8月29日	
	10月17日	
	11月7,28日	
クリスマス会	12月19日	クリスマスパーティー

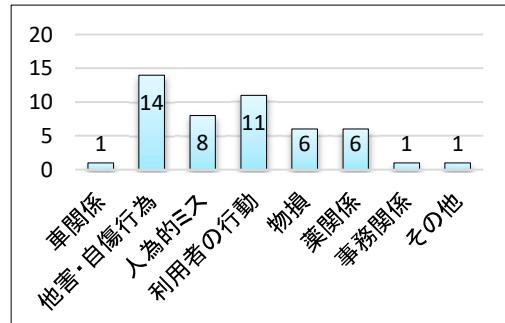
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 29 件



(3) 事故 48 件



10、重点課題

- ① 利用者の個性や意見を尊重して職員が支援出来るよう、障がい特性や権利擁護に関する研修受講の機会を増やし職員の支援力のスキルアップを目指す。
- ② 感染症対策や衛生面、環境面に配慮した、安心安全なグループホーム作りをする。
- ③ 近隣の方たちや地域の方たちと関りを持ち、良好なグループホームの運営をしていく。

11、目標

- ① 利用者の方々に安心、安全に過ごしていただくために、一人一人の特徴に配慮した支援を丁寧に行う。
- ② 利用者家族や関係事業所との連携を日々心がけ、スムーズな支援が行えるよう情報共有に努める。
- ③ 利用者の日々の安定した生活のために、職員ひとり一人が報告・連絡・相談を意識しながら連携していく。

12、総括

全体的に利用者がホームで過ごす時間が増え、それに伴って、事故ひやりも増えていく傾向にあった。職員の体制自体は大きく変更は無かったが夜勤のシフトが度々、不安定になる事があった。事業所全体として、利用者の年齢や職員の年齢を考えると、お互いに負担が大きくなることがある。今後の体制や利用者のニーズに合わせて取り組むべき課題が多くあると感じた一年だった。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602 1階)

1、 実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、 目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

- (1)サービス提供地域…茅ヶ崎市
- (2)対象…市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…月～土
- (4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:30～16:00
- (6)定員…16名

4、 事業収入

	年間
開所日数	308
件数	1,768
障害福祉サービス収入(単位:千円)	17,168

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員16名、契約者25名(男性16名、女性9名)

(2)年齢構成

11～34歳、平均年齢24.6歳(男性23.3歳、女性27歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計
療育手帳(神奈川県)	22	2	0	1	25
等級	1級	2級	3級	計	
精神障害者保健福祉手帳	0	1	0	1	
等級	1級	2級	3級	4級	5級 6級 計
身体障害者手帳	6	1	1	0	0 1 9

6、 職員体制

常勤職員4名(他兼務含)、非常勤職員8名(他兼務含)、ドライバー3名

7. 会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月17日 5月8日 6月19日 7月10日 9月11日 10月9日 11月13日 12月11日 1月15日 2月12日 3月12日	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市自立支援協議会全体会	4月25日	令和6、7年度の取り組み発表、委員の顔合わせ、部会の日程調整
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	5月23日	令和6年度の役員選出、年間予定の確認、情報共有のグループワーク
茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議	5月23日	会長、副会長の承認、部会報告、質疑応答
茅ヶ崎市自立支援協議会打ち合わせ	8月28日	第2回自立支援協議会代表者会議の報告内容について
茅ヶ崎市自立支援協議会事業所間交流・情報発信部会	9月10日	神奈川県障害福祉条例について、交流会の開催に向けて
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	9月18日	研修・説明会の準備・市からの連絡・グループワークなど情報共有
茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議	9月26日	茅ヶ崎市からの現状報告と意見交換・課題共有など
茅ヶ崎市自立支援協議会/部会打ち合わせ	10月30日	事業所間交流会の打ち合わせ、意見交換会の打ち合わせ
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	11月7日	茅ヶ崎市寒川町からの連絡、制度説明会について、情報共有など
	1月21日	市町村からの連絡、研修会のお知らせ、情報共有など
自立支援協議会 事業所間交流・情報発信部会	1月24日	福祉大交流会の振り返りと意見交換、2月に予定の意見交換会について
自立支援協議会 代表者会議	1月28日	部会報告・茅ヶ崎市からの報告・意見交換ならびに情報共有
当事者意見交換会	1月29日	自立支援協議会 事業所間交流・情報発信部会が主催し、保護者と事業所における各課題についての意見交換
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	3月10日	障がい福祉課からのお知らせ、令和7年度にむけて意見交換、情報共有
茅ヶ崎市自立支援協議会運営会議	3月19日	部会報告、令和6年度の振り返り

(3) 面談・モニタリング

なし

(4) 研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
茅ヶ崎支部合同家族懇談会	6月6日	活動報告
火災避難訓練	6月25日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
地震避難訓練	10月17日	地震を想定した避難訓練(あいあいクラブと合同)
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
安全運転講習	11月6日	運転に関する知識や技能を学ぶ
制度説明会	11月19日	茅ヶ崎市寒川町における「放課後等デイサービス・日中一時支援」事業利用についての説明など
交通安全講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ
福祉大交流会	12月12日	自立支援協議会、事業所間交流情報発信部会が企画する交流会

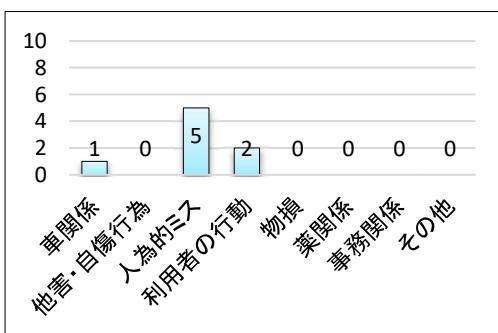
8. 行事

なし

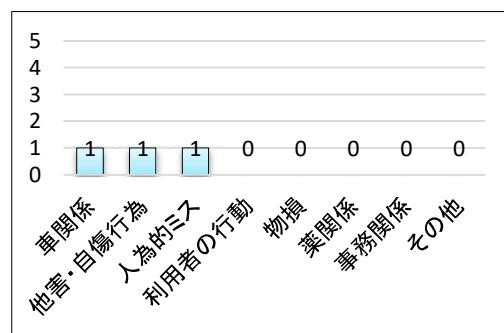
9. 苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 8 件



(3) 事故 3 件



10. 重点課題

- ① ライフステージに合った福祉サービスが利用出来るよう、課題を抱えたご家庭へ情報発信を行う。
- ② 兼務職員を中心とした支援体制となるが、安全な受け入れ環境を継続すること。
- ③ 既存の利用者の受け入れを維持できるよう、法人内での情報共有によって人員配置・応援職員の手配等を円滑に行うこと。

11. 目標

- ① 日中活動の事業所や相談支援事業所との連携を図り、ご本人の活動場所の確保・ご家族のレスパイトを目的として事業所の稼働を維持する。
- ② 国事業の報酬体系の制度改定にともなう変化に対応していく。
- ③ 職員の支援スキルの習熟度に合わせた配置の適正化を進める。

12. 総括

- ① ライフステージに合わせた情報として、茅ヶ崎市内に新規開設されたグループホームの情報を提供した。
- ② 既存職員の支援力の習熟に伴い、職員の配置パターンを増やすことができ、応援職員の依頼頻度を減らすことができた。

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マイinzビル1階)

1、 実施事業

平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、 目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、 事業内容

平塚市移動支援…余暇活動や通学、帰宅時等の外出の際の移動サポート
パーソナルサービス…個別のニーズに沿った支援

4、 事業収入

(1) 移動支援

	年間
時間数	917
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,161

(2) パーソナルサービス(自由契約)

なし

5、 利用者構成

定員:なし/登録者:22名(男性15名、女性7名)

6、 職員体制

常勤職員4名(他兼務含)
派遣職員1名(他兼務含)
非常勤職員6名(他兼務含)

7、 会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	5月17日	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討
	6月14日	
	7月19日	
	9月20日	
	11月15日	
	12月20日	
	1月24日	
	3月21日	

(2) 外部会議

なし

(3) 面談・モニタリング

なし

(4)研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種

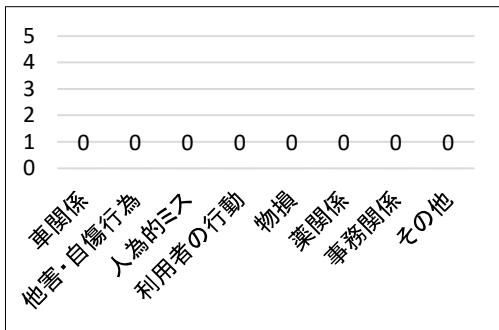
8、行事

なし

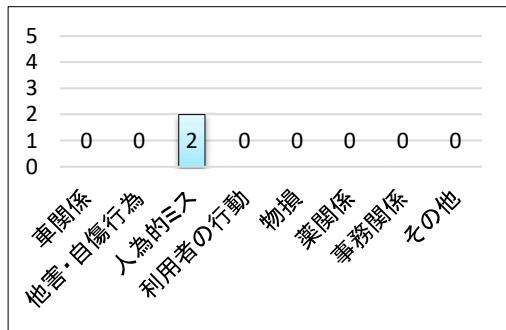
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情 0件

(2)ひやりはっと 0件



(3)事故 2件



10、重点課題

- ① 病欠等による職員不足のため、支援職員の確保
- ② 緊急利用希望時の職員不足解消
- ③ 請求事務のヒューマンエラーを減らす

11、目標

- ① 他部署に業務内容を理解してもらいフォローを得られる体制を作る
- ② 他部署との人員体制を工夫して支援職員を確保する
- ③ ダブルチェック体制の継続

12、総括

課題、目標共に職員数に絡む内容になっているが他部署からの協力を得ており、支援活動を行い易い環境の確保が出来ている。
又、請求業務は利用件数減少もあり重要な事案と考え、誤請求等の防止を維持するように努めた。

えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、 実施事業

平塚市日中一時支援

2、 目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

4、 事業収入

	年間
開所日数	301
件数	1,203
障害福祉サービス収入(単位:千円)	8,510

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者19名(男性12名、女性7名)

(2)年齢構成

16～34歳、平均年齢26.7歳(男性28.2歳、女性24.3歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計
療育手帳(神奈川県)	14	4	0	0	18
等級	1級	2級	3級	計	
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0	
等級	1級	2級	3級	4級	5級 6級 計
身体障害者手帳	0	2	1	1	1 0 5

6、 職員体制

常勤職員4名(他兼務含)

派遣職員1名(他兼務含)

非常勤職員6名(他兼務含)

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	5月17日 6月14日 7月19日 9月20日 11月15日 12月20日 1月24日 3月21日	利用者ごとの支援方法についてなどを中心に課題を検討

(2) 外部会議

なし

(3) 面談・モニタリング

なし

(4) 研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
火災避難訓練	6月20日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
地震避難訓練	10月14日	地震を想定した避難訓練
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種

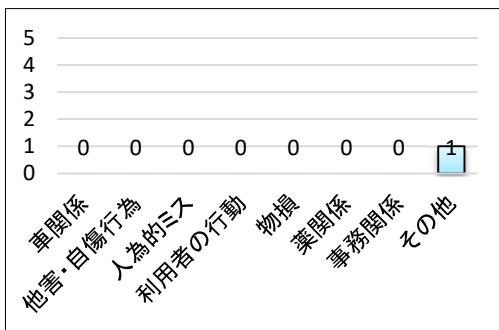
8、行事

なし

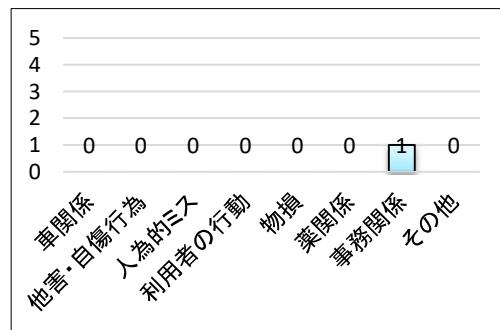
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 1 件



(3) 事故 1 件



10、重点課題

- ① 対応職員の高年齢化と体力低下に伴う支援内容の整理
- ② 職員間の実力差を縮める
- ③ 請求事務のヒューマンエラーを減らす

11、目標

- ① 散策等の運動を、室内で行うストレッチ等に変更する
- ② 職員間で声を掛け合える雰囲気に重点を置き、職員同士が助け合いながらスキルアップを目指す
- ③ 時間にゆとりをもち、慌てず落ち着いて処理できる体制づくり

12、総括

日中活動からの延長支援であり、利用者及び、職員も油断や疲労からくる事故を未然に防げるよう良好なコミュニケーションに努め、職員同士の気遣いや配慮、余裕ある支援を今後も図りたい。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、 実施事業

放課後等デイサービス

2、 目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、 事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…中・高等学校へ在籍し、市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～金

(4)定休日…土曜日・日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 長期学校休業日/9:30～17:30

(6)定員…10名

4、 事業収入

		年間
開所日数		241
件数		2,563
障害福祉サービス収入(単位:千円)		28,747
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)		1,263

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者33名(男性22名、女性11名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	0	0	0	1	1	2
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	1	1	2

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	3	2	6	4	1	4	20
女性	1	1	0	6	1	2	11
計	4	3	6	10	2	6	31

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	9	20	4	0	33		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	1	1	1	2	0	6

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者兼サービス管理責任者1名、児童指導員2名、
指導員1名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務含))

非常勤職員6名

(児童指導員4名(他兼務含)、指導員2名(他兼務含))

派遣職員1名

(指導員1名)

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月16日	日々の業務、利用者対応、支援の情報共有、検討など
	5月14日	
	6月11日	
	7月2日	
	9月10日	
	10月8日	
	11月12日	
	12月3日	
	2月18日	
	3月4日	

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
湘南支援学校事業所連絡会	5月2日	湘南支援学校関係の放課後等デイサービス事業所の連絡会
自立支援協議会子ども部会	2月6日	平塚市自立支援協議会の担当引継ぎ会議

(3) 面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
個別面談	5月7～24 日	定期の利用者個別面談
	6月4～27 日	
	10月2～24 日	
	11月5～28 日	
移行面談	2月26日	高等部卒業の利用者のサービス移行に向けた聞き取り

(4) 研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
平塚市自立支援協議会子ども部会主催研修	6月19日	虐待防止研修
火災避難訓練	6月27日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
サービス管理責任者実践研修	9月2,3日	サービス管理責任者実践研修
湘南支援学校公開日	10月17日	湘南支援学校の校内見学
地震避難訓練	10月29日	地震を想定した避難訓練
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
安全運転講習	11月5日	運転に関しての知識や技能を学ぶ
自立支援協議会GSV研修	11月19日	自立支援協議会学齢児会主催のグループステーション研修

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
交通安全講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ

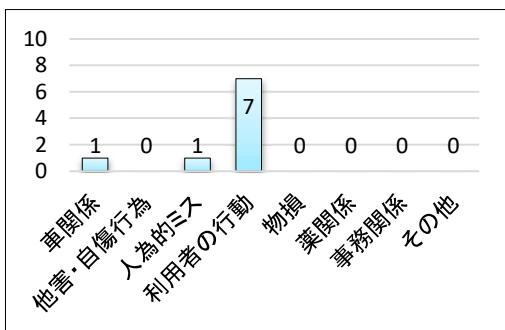
8. 行事

行事名	開催日	内容
誕生日会	5月29日 7月17,18日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
プール外出	7月30日	相模原北の丘センターのプール利用
軽運動外出	8月8,22日	地域公民館の大ホールで軽運動や映画の鑑賞
お楽しみ昼食	8月8日	昼食を調理し、みんなで食べる
誕生日会	8月29日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
お楽しみ会	8月 19,20,21日	ゆうゆうクラブで夏祭りを実施
誕生日会	9月24,25日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
ハロウィンパーティー	10月30,31日	仮装をしてハロウィンパーティーを楽しむ
誕生日会	11月 19,25,28日 12月16,18日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
クリスマス会	12月24,25日	みんなでクリスマスをお祝いする
お楽しみ昼食	12月26日	手作り昼食を食べる
初詣	1月6,7日	近所の神社へ初詣に行く
お楽しみ昼食	1月9日	カレーを作りみんなで食べる
卒業遠足	3月 10,11,17日	高等部を卒業した利用者の遠足
卒業生を送る会	3月28,31日	高等部を卒業した利用者の送別会

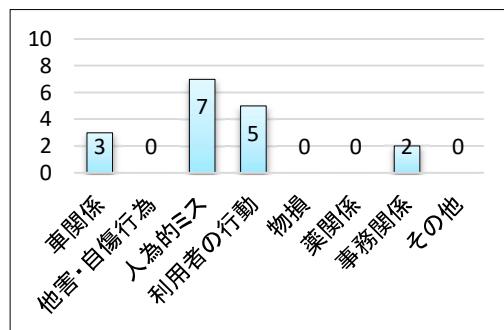
9. 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 2 件

(2) ひやりはっと 9 件



(3) 事故 17 件



10. 重点課題

- ① 新規職員の増加に伴い、職員の支援力の向上と連携強化が課題となっている。
- ② 昨年度、多数の卒業生がいたため、今年度は利用者減少が見込まれる。充実した活動と適切な支援を行うことで、新規利用者の受け入れを積極的に行っていきたい。
- ③ 喫緊の課題となっていた2階活動室の空調設備は、電源の増設と新規エアコンの設置により大幅な改善となった。しかしながら、施設内の設備には老朽化が見られ、定期的な点検、修繕修理が必要。

11、目標

- ① 法人内外での研修に積極的に参加することで、職員全体のスキルアップを目指す。更に、定例の会議内や日々の打合せで利用者情報共有を行って職員間の連携の強化を図る。
- ② 法人が発信しているホームページや広報誌の情報を活用して外部に事業所の活動を周知し、新規利用者の獲得につなげていく。定期利用者に対しても、適切な支援で信頼を築いていく。
- ③ 利用者、職員が快適な環境で活動を行えるよう、定期的な点検を実施し必要に応じて施設設備の改修、修理を行っていく。

12、総括

- ① 法人内外の研修会への参加や、定例会議内、日々の打ち合わせ内において、職員のスキルアップと連携強化を図った。長期休暇や早下校などのイレギュラーな日課にも、他事業所と連携した職員の勤務体制により充分な対応を行った。
- ② 今年度の卒業生数に見合うだけの新規利用者の充分な受け入れは出来ておらず、新年度は大幅な利用者減になる見込みである。地域では放課後等デイサービスの供給が過多となり、同様の状態が他事業所でも見られている為、安定して運営を行うためには受け入れの幅を拡げ、併せて適切な支援を行い利用者の信頼を得ていく必要がある。
- ③ 建物の施設設備には改修の必要な場所が複数あり、今後も継続して取り組んでいきたい。

えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マイinzビル1階)

1、 実施事業

生活介護

2、 目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、 事業内容

食事及び排泄等の介助、創意的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、 事業収入

	年間
開所日数	253
件数	5,311
障害福祉サービス収入(単位:千円)	89,259
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	3,638
就労支援事業収入(単位:千円)	245

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者30名(男性20名、女性10名)

(2)年齢構成

19～34歳、平均年齢29.7歳(男性29.2歳、女性30.7歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	24	6	0	0	30		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	3	4	1	4	0	0	12

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	1	2	7	9	19
女性	0	0	0	1	6	4	11
計	0	0	1	3	13	13	30

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者兼サービス管理責任者1名、生活支援員4名(他兼務含))

非常勤職員23名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員20名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務含))

派遣職員3名

(ドライバー3名)

7、会議・面談・研修等

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月24日	
	5月22日	
	6月26日	
	7月24日	
	8月28日	
	9月25日	利用者ごとの支援方法について課題を検討、情報交換をし、個別支援計画作成に生かしていく
	10月23日	
	11月27日	
	12月25日	
	1月22日	
	2月26日	
	3月26日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
福祉用具専門業者と打ち合わせ	4月25日	車椅子修理について
湘南支援学校1年職場体験打ち合わせ	12月16日	体験実施依頼書、生徒状況の説明

(3)面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
個別面談	9月1~31日	情報交換、報告と聞きとり
嘱託医面談	9月13日	インフルエンザ予防接種調整(内田クリニック)
	12月20日	平塚市他感染症状況と対応
	2月14日	医療面談(内田クリニック)
個別面談	3月1~31日	情報交換、報告と聞きとり

(4)研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
見学	4月23日	他事業所相談員来訪
火災避難訓練	6月6日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
湘南支援学校高等部3年生現場実習	6月24~28日	えぼっくハウス通常活動への参加
見学	7月 4,11,22,24日	支援学校在校生来訪
サービス管理責任者更新研修	7月18,19日	障がい福祉・児童福祉の動向に関する講義/サービス提供の自己検証に関する演習等/サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
見学	7月31日	湘南支援学校教員来訪、卒業生アフターフォロー見学
	8月 26,27,29日	えぼっくハウス概要説明、活動見学、質疑応答
実習	9月	湘南支援学校3年生現場実習、事前打ち合わせ
	12,18,30日	オリエンテーション、利用に向けての活動参加
見学	9月13日	湘南支援学校生徒見学
	9月27日	平塚支援学校進路担当教員見学
安全運転管理者法定講習	10月9日	事業所の安全運転管理の為に、地域の交通情勢
体験実習	10月1～ 4,15～18日	湘南支援学校3年生現場利用に向けての現場体験実習
	10月21日	地震を想定した避難訓練
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
安全運転講習	11月5日	運転に関する知識や技能を学ぶ
交通安全講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ
体験実習	2月12,25日	湘南支援学校生徒1日現場体験

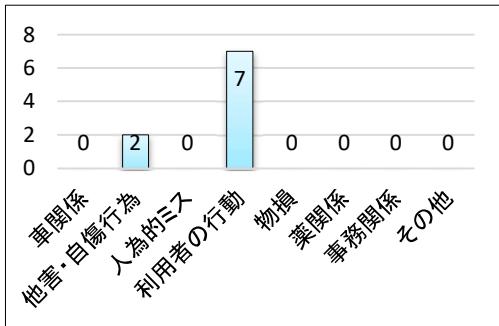
8、行事

行事名	開催日	内容
花見	4月10日	四之宮ふれあい公園で花見
七夕まつり見学	7月5日	見学、屋台での買い物を楽しむ
ボウリング大会	9月	
	24,25,26,30日	伊勢原ボウルでボウリング大会
アロマトリートメント	11月11日	アロママッサージ
みかん狩り	11月13日	みかんの食べ放題、収穫体験
平塚市役所展示即売会	12月13日	売り子

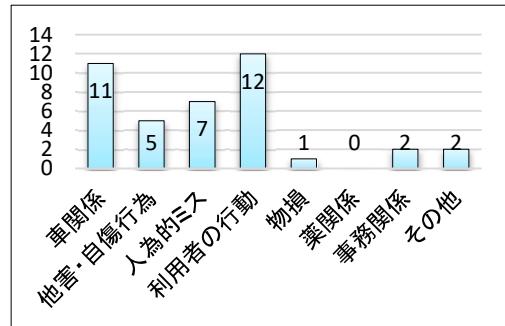
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 5 件

(2) ひやりはっと 9 件



(3) 事故 40 件



10、重点課題

- ① 業務継続計画(BCP)の作成と活用。
- ② イベントの計画と実施(個別・集団)
感染症への配慮。楽しみを増やすことで生きがい、生活の質を向上させる。
- ③ 個別支援計画の充実(利用者主体の計画の作成)、家族、全職員でのモニタリングとアセスメントと情報共有

11、目標

- ① 緊急時にいつでも活用出来るBCPにするために、目的と内容を職員に周知し、定期的に(月1回の会議時)内容を見直し、情報を更新していく。
- ② 安全に楽しめるイベントを利用者と共に話し合い、企画・開催する。(花見・バーべキュー・カラオケ・ボウリング・外食)
- ③ 個別支援計画作成に当たり、利用者の希望、気持ち、意見を汲み取り、個別支援計画作成会議で情報共有し作成していく。

12、総括

- ① 業務継続計画(BCP)については、事業所内の会議で情報を周知し、新規利用者情報等細かい箇所を修正し進めた。コロナウイルス感染者が出た際にはBCPを活用し、その都度問題点を修正した。
- ② 通常活動の外出を日々行いながら、イベントとして、外食、ボウリング、バーべキュー、七夕まつり見学を希望者を募り実施したことでのよい経験が出来た。
- ③ 個別支援計画作成につながる個別支援会議、モニタリングでは利用者、ご家族同席のもとで実施予定としていたが、利用者、ご家族の理解を得る事が難しく、ご家族との面談が中心になった。今後も同席での面談を促しながら、利用者希望の個別支援計画の作成については、日々の活動内の様子や会話から気持ちを汲み取り、意思決定支援の考え方のもとで支援計画作成に取り組んでいくことが重要になる。

やなぎこんぶ(平塚市中原2-6-63)

1、 実施事業

生活介護

2、 目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、 事業内容

食事及び排泄等の介助、創意的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、 事業収入

	年間
開所日数	253
件数	1,647
障害福祉サービス収入(単位:千円)	27,976
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	340
就労支援事業収入(単位:千円)	58

5、 利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者10名(男性7名、女性3名)

(2)年齢構成

22～34歳、平均年齢29.2歳(男性30.1歳、女性27歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	6	4	0	0	10		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	3	3	7
女性	0	0	0	0	2	1	3
計	0	0	0	1	5	4	10

6、職員体制

常勤職員2名
(管理者兼サービス管理責任者1名、生活支援員1名(他兼務))
非常勤職員6名
(看護師1名(他兼務含)、生活支援員5名(他兼務含))

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月24日 5月22日 6月26日 7月24日 8月28日 9月25日 10月23日 11月27日 12月25日 1月22日 2月26日 3月26日	利用者ごとの支援方法について課題を検討、情報交換をし、個別支援計画作成に生かしていく

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	9月9日	入院中の利用者の現状報告、今後の対応

(3) 面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
個別面談	9月1～31日	情報交換、報告と聞きとり
嘱託医面談	9月13日 2月14日	インフルエンザ予防接種調整(内田クリニック) 医療面談(内田クリニック)
個別面談	3月1～31日	情報交換、報告と聞きとり

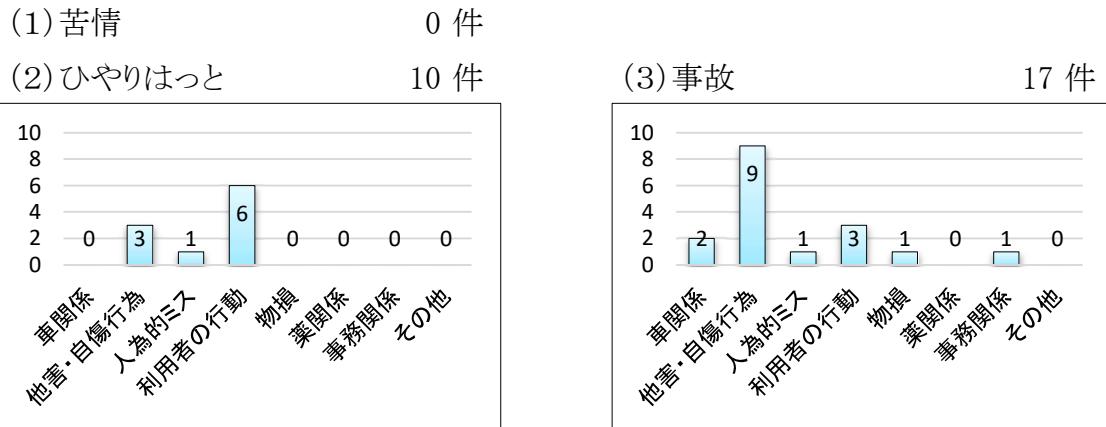
(4) 研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
火災避難訓練	6月25日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
見学	8月 26,27,29日	やなぎこんぶ概要説明、活動見学、質疑応答
地震避難訓練	10月25日	地震を想定した避難訓練
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
交通安全講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ

8、行事

行事名	開催日	内容
花見	4月10日	四之宮ふれあい公園で花見
七夕まつり見学	7月5日	見学、屋台での買い物を楽しむ
ボウリング大会	9月 25,26,30日	伊勢原ボウルでボウリング大会
みかん狩り	11月13日	みかんの食べ放題、収穫体験

9、苦情・事故・ひやりはっと報告



10、重点課題

- ① 定員の確保。新規利用者の開拓
- ② イベントの計画と実施(個別・集団)
感染症への配慮。楽しみを増やすことで生きがい、生活の質を向上させる。
- ③ 個別支援計画の充実(利用者主体の計画の作成)、家族、全職員でのモニタリングとアセスメントと情報共有

11、目標

- ① 平塚市障がい者事業所合同説明会(茅ヶ崎、秦野、伊勢原、大磯等複数事業所参加予定)への参加や支援学校との連携を深め利用希望者情報を収集していく。
- ② 安全に楽しめるイベントを利用者と共に話し合い、企画・開催する。(花見・バーベキュー・カラオケ・ボウリング・外食)
- ③ 個別支援計画作成に当たり、利用者の希望、気持ち、意見を汲み取り、個別支援計画作成会議で情報共有し作成していく。

12、総括

- ① 同法人内、生活介護事業所の「えぼっくハウス」と連携をとりながら、市内の支援学校高等部1年生からの体験や2年生での現場実習を積極的に受け入れる事で事業所に興味を持っていただき、利用希望者が増加傾向となっている。
- ② 通常活動の外出を日課として取り入れ、気分転換と健康を維持しながら、大きなイベントとして、外食、ボウリング、バーベキュー、七夕まつり見学を実施した。
- ③ 利用者との個別支援計画作成につながる個別面談では、利用者、ご家族同席のもとで実施予定としていたが、利用者、ご家族の理解を得る事が難しく、ご家族との面談が中心になった。今後も同席での面談を促しながら、意思決定支援の考え方などで支援計画作成に取り組んでいくことが重要になる。

キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

1、実施事業

就労継続支援B型

2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

3、事業内容

生産活動、外出、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	249
件数	4,954
障害福祉サービス収入(単位:千円)	42,386
就労支援事業収入(単位:千円)	10,501

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者25名(男性17名、女性8名)

(2)年齢構成

19～32歳、平均年齢26.2歳(男性26.4歳、女性25.8歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計
	4	13	6	2	25
療育手帳(神奈川県)					
等級	1級	2級	3級	計	
精神障害者保健福祉手帳	1	0	0	1	
等級	1級	2級	3級	4級	計
身体障害者手帳	0	0	0	1	0
					1

(4)男女区分の内訳

区分	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	2	0	0	1	13	1	0	17
女性	0	0	0	4	3	1	0	8
計	2	0	0	5	16	2	0	25

6、職員体制

常勤職員6名

(管理者兼サービス管理責任者1名、職業指導員2名、生活支援員3名(他兼務含))

非常勤職員4名

(生活支援員4名(他兼務含))

7、会議・面談・研修等

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月9日 5月21日 6月11日 7月16日 8月27日 9月10日 10月8日 11月12日 12月10日 1月21日 2月4日 3月18日	利用者ごとの支援方法について課題を検討、情報交換

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
日本基板ネットワーク総会	6月18日	年間活動報告

(3)面談・モニタリング

面談・モニタリング名	開催日	内容
個別面談	4月9,10日 8月8,14日 9月 26,27,30日 10月 1,2,3,29日 10月24日 2月 25,26,27日 3月 5,6,18,21日	個別支援計画について 個別ケースについて 個別支援計画について 今後の支援について 個別支援計画書について

(4)研修・講習・説明会・その他

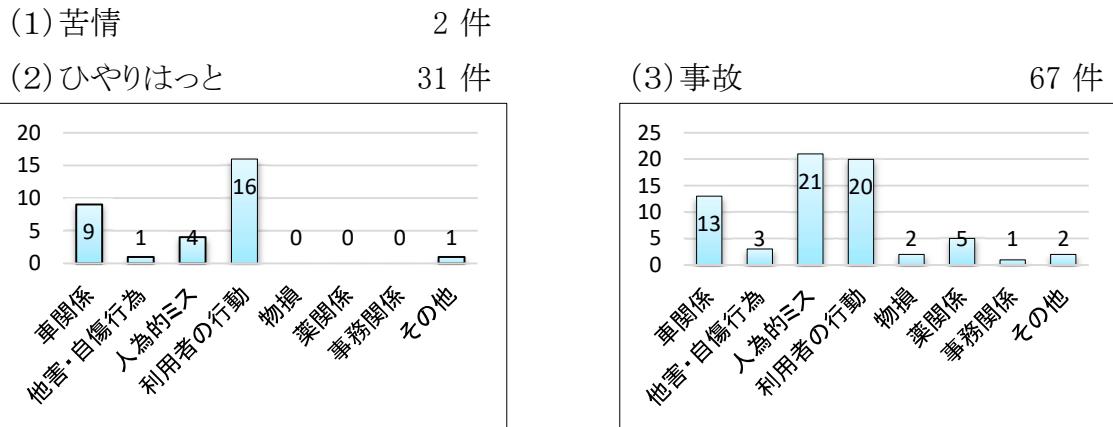
研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
火災避難訓練	6月4日	火災を想定した避難訓練(通報訓練)
相談支援従事者現任研修	7月9日	個別相談支援とケアマネジメント他
サービス管理責任者更新研修	7月18,19日	障がい福祉・児童福祉の動向に関する講義/サービス提供の自己検証に関する演習等/サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習
見学	8月9,22日	キャロット工房概要説明、作業見学

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
相談支援従事者現任研修	8月20日	他職種連携(チームアプローチ)他
	9月17日	グループスーパー・ビジョンの目的と方法他
安全運転管理者法定講習	10月8日	事業所の安全運転管理の為に、地域の交通情勢
地震避難訓練	10月18日	地震を想定した避難訓練
実習生受け入れ	10月21～25日	湘南支援学校実習生受け入れ
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
交通安全講習	12月10日	交通法規を守り、事故を未然に防ぐために安全・安心な運転をする為に心掛けるポイント等を学ぶ
実習生受け入れ	1月14日	平塚支援学校実習生受け入れ
見学	2月17,18日	湘南支援学校生徒体験実習
	3月4日	支援学校関係者事業所見学

8、行事

行事名	開催日	内容
出荷	4月18日	ネオシステムへパソコン自主回収リユースパーティ出荷
出張解体	4月25日	湘南工科大学にてハードディスク解体
出荷	4月30日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
パソコン寄付受け入れ	5月11日	湘南ベルマーレ公式戦前イベント
出荷	5月30日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
	6月13日	アンカーリサイクルポートへ自主回収基板出荷
出張解体	6月14日	湘南工科大学にてハードディスク解体
	6月19日	横浜学園にてハードディスク解体
	6月24日	湘南工科大学にてハードディスク解体
出荷	7月4日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
お楽しみ外出	7月9日	東京スカイツリーへ
出荷	8月23日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
	9月3,4日	フェリス女学院にてハードディスク解体
出張解体	9月11,13日	湘南工科大学にてハードディスク解体
	9月27日	神奈川学園にてハードディスク解体
出荷	9月25日	ネオシステムへパソコン自主回収リユースパーティ出荷
	9月30日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
パソコン寄付受け入れ	10月19日	湘南ベルマーレ公式戦前イベント
バーベキュー	10月21,28日	茅ヶ崎市里山公園でバーベキュー実施
出張解体	10月22日	横浜学園にてハードディスク解体
TBSイベント	11月9,10日	パソコン解体ショー及びアクセサリー作り
出荷	11月15日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
パソコン寄付受け入れ	11月16日	湘南ベルマーレテントブースイベント
	12月19日	アンカーリサイクルポートへ自主回収基板出荷
出荷	12月23日	ネオシステムへパソコン自主回収リユースパーティ出荷
	12月27日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷
	1月29日	
	1月30日	アンカーリサイクルポートへ自主回収基板出荷
節分	3月3日	豆まき
出荷	3月7日	アンカーリサイクルポートへ自主回収基板出荷
	3月	
出張解体	10,11,17,18,25日	湘南工科大学にてハードディスク解体
出荷	3月19日	和光金属へ銅、銅線、亜鉛出荷

9、苦情・事故・ひやりはっと報告



10、重点課題

- ① 利用者が意欲的に自ら取り組める作業内容の充実。
- ② 企業・学校等のご協力で作業物の確保ができているため信頼関係の継続が最重要。
- ③ 利用者各々の意向を汲み取り、寄り添い安心して通所してもらえる支援の充実。

11、目標

- ① 作業場の環境整備に努め安全に考慮し利用者に作業を進めもらう。
- ② 新規取引先の開拓により作業物の確保増量を目指す。
- ③ 利用者に四季の大切さを感じて欲しく、リフレッシュも兼ねて行事も増やしていきたい。

12、総括

- ① 作業を通じて一般企業・学校・地域とのつながりが更に広がりそして深めていくことができた。
- ② 利用者に安心して通所してもらうためには、職員の連携・信頼関係は必要不可欠だと感じた。
- ③ 今年もリフレッシュ外出を実施することができて良かった。
- ④ 人身事故などの大きな事故はなかったものの、注意・確認不足による事故が目立ち、日頃の体調管理の大切さを感じた。
- ⑤ 日頃の作業への取り組みから利用者の作業技術が向上したと感じる。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マイinzビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービスを利用できるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業収入

(1) 計画相談支援

	年間
サービス利用支援件数	67
サービス継続支援件数	254
障害福祉サービス収入(単位:千円)	5,109

(2) 障害児相談支援

	年間
サービス利用支援件数	4
サービス継続支援件数	5
障害福祉サービス収入(単位:千円)	167

5、職員体制

常勤職員2名(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員1名)

6、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	5月21日	今年度の活動内容の確認 法や制度、茅ヶ崎市ルールの共有

会議名	開催日	内容
平塚市計画相談支援事業所連絡会	6月21日	令和6年度報酬改定について、基幹相談支援センターの役割と、協議会の機能と構成
	8月19日	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討
ケース会議	9月9日	入院中の利用者の現状報告、今後の対応
	9月19日	入所利用者の移行支援会議
平塚市計画相談支援連絡会	10月10日	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	11月12日	災害ノートについて(保健所)、茅ヶ崎支援学校進路状況など、茅ヶ崎市成年後見支援センターより説明他
平塚市計画相談支援連絡会	11月22日	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討
茅ヶ崎市相談支援連絡会	2月18日	個別避難計画について、基幹からの情報共有、相談支援部会報告、次年度に向けて

(3)面談・モニタリング

面談・モニタリング名	件数	内容
利用者面談	326件	平塚市、二宮町、茅ヶ崎市、寒川町利用者の面談

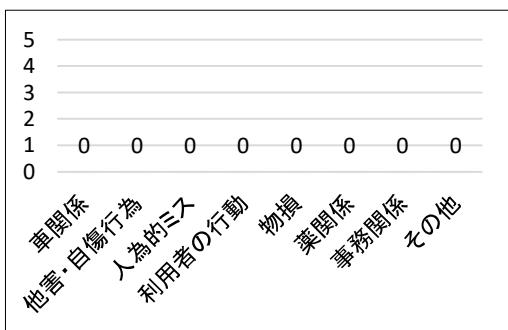
(4)研修・講習・説明会・その他

研修・講習・説明会・その他名	開催日	内容
集団予防接種	10月30日	インフルエンザ予防接種
基幹相談支援センター事業所訪問	11月11日	情報共有
平塚市障がい者基幹相談センター主催研修	3月25日	グループホームに求められる地域での役割 講師:又村あおい氏

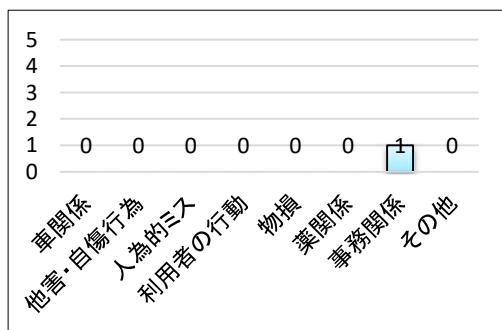
7. 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情 0 件

(2)ひやりはっと 0 件



(3)事故 1 件



8. 重点課題

<茅ヶ崎支部>

- ① ご本人の障がい特性により、受けてもらえる社会資源が少なく、次への支援につなげることが厳しい現状である。
- ② ご本人・ご家族・関係機関との調整が思うように進まないことが多い。
- ③ 会議や研修に出席し、地域の関係者と連携を深める。

<平塚支部>

- ① 感染症の影響や人手不足などで、短期入所や移動支援といったサービスを希望通りに利用することができない。行政や関係機関と連携してニーズに応えたい。
- ② 家族の高齢化により介護ができなくなることに備えて、利用者の自宅以外での生活拠点を準備したいという希望が増えている。それぞれの利用者の特性に合った施設等の利用調整を行いたい。
- ③ 利用者や家族のニーズが多様化する中で、対応するために相談員としての質の向上が必要である。

9、目標

<茅ヶ崎支部>

- ① 少ない資源の中でもご本人の生活が少しづつ将来への体験につながるよう対応していく。
- ② 情報収集を欠かさず、利用者のニーズに沿うようにしていく。
- ③ 緊急時の対応について、ご家族・地域の各関係機関・行政と速やかに行っていく。

<平塚支部>

- ① 家族の介護負担の増加や生活の変化により、新たな福祉サービス利用のニーズが増えている。それぞれのケースに応えられるよう社会資源の把握と関係者との情報共有を行っていく。
- ② グループホームの利用が増えており事業所の数も増えているが、スタッフの不足などが原因で充分な支援が受けられていないケースが見られる。ホームの状況を把握し、利用者が不利益を受けないようサポートを行う。
- ③ 困難な事例に対しては、新しくできた基幹相談支援センターや委託事業所などに協力を得ながら解決を図っていく。

10、総括

<茅ヶ崎支部>

- ① 地域にグループホーム開設予定があり、情報収集をしてご家族へ情報提供を実施した。学齢期の短期入所利用の際、義務教育の中での利用になるが、家族以外の人と過ごす良い機会なので各事業所・ご家族と相談しながら利用へ繋げ、成人期へスムーズに移行ができるのを望む。
- ② 緊急対応が必要な事案があったが、各地域の関係機関の協力で対応できた。今回の件は、各機関の迅速・的確な対応があった為であり、改めて地域の連携の必要性を感じた。
- ③ 福祉サービスのニーズのみで解決できないことが多い。サービスを駆使して円滑にご本人・ご家族が安心して暮らしていくには、グループホーム(短期入所)や入所施設の必要性は高いと感じた一年であった。

<平塚支部>

- ① 将来の入所に備えて、短期入所の利用を始めたご家族が増えている。ただ利用者本人は今まで自宅以外での宿泊経験がなく、利用を拒否する方も多い。利用に前向きになってもらうことが課題である。
- ② 日中サービス支援型グループホームの利用が増えているが、色々なトラブルも見られる。利用者とホーム双方とで情報交換し、サポートしていくことが必要である。
- ③ 移動支援利用のニーズは多いが、ヘルパー不足もあり対応できていない。移動支援をやめる事業所も見られる。
- ④ 基幹相談支援センターが見て1年が経つ。困難なケースでは情報交換をしながら支援を行っている。
- ⑤ 学校を卒業して今年度から新たな事業所を利用している方が多いが、概ね大きな問題はなく、通所できている。

特定非営利活動法人トムトム

別紙1:令和6年度組織図

